



第五卷 第二号

発行所 方城村公民館 編集人 荒木良和 印刷所 日本講演文化協会印刷局 (西尾印刷有限会社内)

◇原稿募集◇

- 一、論文隨筆創作文藝評論何でも建設的なもの(取捨は編集部に一任)
二、詩歌俳句川柳一人二首二句
三、投稿切毎月五日
四、投稿先方城村公民館

公民館運動の回顧を展望

副館長 高津久雄

(前號の續き) 役場から金田町に通ずる幹線道路の實現も間近だ文化の香りを発散して走る定期の大形バスの運行もそう遠い將來ではあるまい。

私は思う。事業は総べて人によるものであると、方城村公民館運動の実績を語る上に於て前公民館主事浜田氏の功績を見がしてはならぬ、氏は当村在職時既に四十有五歳、見事から知識人らしいタイプの仕事盛りの人であつた、文筆のわざに長じ、弁舌の才を兼ね、企画性に富む点は吾人の遠く追従することの出来ぬ所であつた。夜を日に次ぐ各分館への巡回講演や、青少年の指導には特に熱心であつた、諸種の会合に於ける司会のうまさには氏に対する色々の思出と共に印象の深いものがある、方城村の公民館運動の進展が、此の人の活動に負うことの多きもの、あつたことは論を俟たぬ、只今尙残念に思われてならぬことは、漸く発展の緒に就いたばかり、方城村公民館

運動の陣營から本人の都合で田川地方事務所へ去られたことだ、然し村民の協力で方城村公民館は文化方城村の名と共に、縣下知られるに至つてゐる、次の有力なる文部大臣の表彰の候補として期待されてゐる、内容外欄共に眞にすぐれた其の名に恥じない優良公民館に育成して行くことを念願し其の全力を挙げての精進を意氣込んでいるのが現公民館主事の荒木良和氏である、方城村は人の点に於てはよき公民館主事に恵まれてゐることを、村民各位と共に喜ぶたい、荒木主事の積極的な活動性と、物に対する洞察力の鋭敏さは、氏独特のものである、餘既に五十を越へ、手腕人格共に円熟の域に達してゐる、過去に於ける官界生活の足跡は縣下各郡から遠く朝鮮、海南島に及ぶ経歴の所有者で、其の視野の廣さと、知人の多きこと、官界事情に通じてゐる点では氏は正に特別の存在である、交渉のうまさから補助金もらしいの名人との評もある、前

浜田主事との対照に於て一長一短は免れぬかも知れぬが、方城村公民館の明日への発展を期待して充分だと思ふ。公民館運動の狙いが、民主的にお互の教養と常識を高め、相互の協力を合を培い、之に依り村民自治の基礎づけをすることに於ては、方城村は如何に於ても二十有三箇所の新築を誇る公民館の活動にそれを望むことが先ず当然とされよう、公民館運動は方城村の場合に於ては分館活動からかと思ふ、各分館の持つ地域の実情を酌んだ自主的な動きに依る、例えば今日の部落主婦の会合では生活改善が執り上げられ先ず無駄の廃止が申合せられた、この分館では共同育苗と生産品の共同出荷が決定した、この分館では月の一日と十五日が公休日と申合せられ、其の日に必ず荒木主事を囲んだ懇談会を開催することに約束された等々...だが公民館運動は上はしつた見えをかざる形式的のもので

あつてはならない、何処までも地に根を下したものであつて欲しいのだ指導の人々の掛声だけであつてはならないことだ、吾等の庶幾する眞の農村文化は先ず額に汗することの努力だ、そうして充分なる経済力を積むことだ、而して更に豊かな教養を養うことだ、強き経済力と、豊かな教養とのみ、それを約束してくれらるものであることを深く思うべきである。 講和の新春!昭和二十七年! 親愛なる村民各位の生活の上に幸多かれと祈つて已まぬ、それと共に全村民の渾然たる協力の下に力強き公民館運動の展開を望むや亦切である

運営審議會の動向

昭和二十七年第一回の公民館運審委員が一月十七日公民館で開かれた午前九時開会先ず館長から昭和二十七年年度の公民館活動方針並に重点目

標の構想に就いて文化方城村建設の抱負を開陳せられたのに対し各委員から相当深刻な質問が出て眞剣に意見の交換があり慎重審議遂に中食の時間も忘れ午後三時半まで続行、次の様な基本線を出し更に細目に至つては各別別に検討を加え具体案を作製再審議の上実行に移すこととして散会した。当日意見の一致を見た事項は 一、運審委員自らの研修の機会を持つこと 二、昭和二十七年に於ては分館の活動に重点を置くこと 三、図書館の内容整備に伴い巡回文庫の充実 四、青少年問題対策の育成強化 五、産業教育の振興

村立図書館一月中利用状況

Table with columns: 読書友の會新登録者 (Student, General, Total), 被讀書冊數 (General, History, Science, etc.), 閱覽者數 (Official, Miner, Farmer, etc., Total)

一月入荷新刊紹介

- 吉川英治著 黒田如水
吉川英治著 上杉謙信
大佛次郎著 日蓮上卷
大佛次郎著 日蓮下卷
永井龍男著 風ふたたび
井上靖著 傍觀者
内田百閒著 隨筆億劫帳
小林一三著 仕事の世界
高村光太郎詩集
與謝野晶子純情歌集
朝日新聞社刊 新聞語辭典
青木誠四郎著 青年心理学
大條方義著 酪農の計画と経営

- 林野廳經濟課編 森林法解説
高橋武雄著 農産加工相談
逸見武雄著 稻熱病の研究
佐々木清綱著 家畜図説(中)
蘭村光雄著 農機具相談
加藤浩著 養豚養兔相談
福岡縣市町村勢要覽
鑄方末彦著 病虫予防相談
松本五楼著 土壤肥料相談
逸見武雄著 麦銹病と稻熱病
川上幸治郎著 馬鈴薯の採種
吉井義次著 植物学大要
その他

現代教育の考察(二)

弁城小学校長 森田 悟

先生も亦、昔は師範学校を出た人、教員の免許状を持つている人だけが先生であつたのですが、現在の先生は家庭でも、お父さんや、お母さんも、爺さんも婆さんも兄さんも姉さんも皆んなが先生であるのです。亦、社会人、隣近人の人は申すに及ばず連絡会長も、常務も、区会議員も村会議員も、役場の村長さんを始め、助役さん、吏員の方々もお医者さん、炭坑の鉱長さんも職員も、大工さんも、左官さんも皆んなが先生であることを知つて戴きたいのです。それは学校の先生は家庭の者や、社会人が先生であるならば、学校の先生はいらないではないかと申されるでしょうと思われませんが、それは無理からぬことです。私が望んでいること、お願いしたいことは先生の算術を教えてやつて下さいとか理科を教えてやつて下さいと云うことではありません。

家庭では、今学校では、どんなことを勉強しているかとか、学校ではどんなお行いを子供に望んでいるかとか、どんな行き方で教育の目的を樹立してやつているかを、よく理解してもらつて、それにそんな気のきいたことを言うなそんなことをしなさいと云うなど、頭ごなしをしないでうんと一度見てやつたり考えてやつたりして、それを色々なおしてやつたり考へ直したりして指導してやつて下さる事です。つまり理解と協力をして戴きたいと云うことなのです。社会人の皆様と今迄は例え悪いことを言つたり、子供らしくない素振や態度があつたり、若し万一悪い行いでもあつた場合でも、それを聞いた子が見たりした時に、あれは他人の子

年頭村長の訓示

昭和二十七年の元旦に際し村長は役場に全職員を集め新年の祝賀式を挙行國家奉唱、新年の歌合唱概ね次の様な村長の訓示があり文化方城村建設の首途を祝福して万歳三唱一同記念撮影をして散会

訓示の要旨

- 一、出退勤務時間の厳守
- 二、各種集合時間の励行
- 三、窓口サービスの改善
- 四、場内整理整頓美化

農業會館 運営について

(前号の續き)

農事組合別を見ますと、二十三組合ある中に、十四組合という約半数の組合が出品出来ていないのは、甚だ残念であつた。

尙酸度検定の実績を見ますと、三二〇点程度目標に検定を実施致しましたが、三五点の検定で、非常に成績が良くないのであります。

然し其の成績の良否につきましてもは例を農林産物品評會が「田川綜合農

業共進會」に取りますと、入賞は五拾四点で、出品に対し郡下でも良い成績を収めました。

郡の競型会については、出場二名で二名共一等賞を獲得する等、非常に良い結果を得たのであります。

茲に於て、農民各位の自覚と、認識を望みたいのであります。

一、畜産部
畜産品評會開催、三拾頭の割当に対し、十五頭出品あり、

一、林業部
改正森林法説明会を開催す、林業試験地及林業見本圃につきましても、林業試験場中島技師を招待し、実地踏査を行い、試験地五ヶ所見本圃一ヶ所を、本年三月迄に、完成する様

保育園について

中央保育園 桑名清子



(前号の續き)

戦後日本の現状では、益々保育園と云うものが、必要になつて来て、年々各地に増設される有様です。

戦後の低い生活に甘んずる事なく、文化的な健康で、清潔な、そうして明るい生活を喜ぶように躰け、眞面目な自主的な生活態度と、誰とも協力してける民主的な氣持を抱くように、児童達の遊び、即ち日々の生活指導をしなければならぬのです。

保育園に來て折紙、唱歌、遊戯が上手になるのもよいが、それより、自分自身で自分のものを仕末する事を喜び、お友達とは分けへだてなく

遊び皆と一緒に仕事をする事を楽しむ性格、その習慣をもたせる事の方が、もつと大切な事だと思ひます。

右申述べました様に、児童を明るく抑制する事なく、伸々と幸福に育成しますには、もう一つよき環境を造つてやる事です。其の点、当村では村長の御理解と、炭鉱当局の御援助によりまして、一年一年と施設の方も充実して参つて居ります。

私達保育も、よき保母となり、少しでも児童をよき社会人たらしめんと日々努力致して居ります。

書き足りない点もござりますが、大体保育園というものを御理解出して

計画す、縣行造林については、地元関係者の協力により、本年度二拾町歩を植付する事になつた。

一、農地部
弁城ダム工事計画に対する側面協力に止めて、後は農業土木係一任するとの事で、事業の運営はこれという進展はなかつた。

昭和二十七年新年に當り、過去の會館運営を述べたのであります。が、歸する處は農民各位の協力なくして會館の活動力を最大限に發揮する事は、困難であります。

向本年度は昨年に比し、尙一層會館を有意義に活動いたしたいと思ひますので、昨年の成績をばん回する様農民各位の御協力を望みます。

馬鈴薯の植付について

福岡縣農業改良普及員 技師 長尾智代喜

作り易く、貯蔵のきく作物として、家庭菜園にも、とり入れている馬鈴薯の植付時期に當り、御役に立てばと思ひ筆をとりました。

(一)土地 水はけのよい処

(二)種薯 病氣の關係上北海道産の種子がよい。

(三)植付期 二月中旬より三月上旬。適期は二月下旬

(四)畦巾、株間 四尺の畦を作り二條植、株間八寸一尺の互の目植とする。

(五)植付法 切口を下に置き、堆肥及び肥料を直接種薯に接しない様に株間施し、種イモの上に一二寸覆土する。

(六)肥料及び施肥法 反当施肥の基準は次の通り。

肥料名	元肥
堆肥	三〇〇匁
硫酸安	七匁
過磷酸	一〇匁
硫酸加里	三匁

元肥は硫酸、過磷酸、硫酸加里を混合して、株間に施用する。

堆肥も同様株間施用追肥の第一回は地上に芽が見え始めた頃硫酸二匁を水肥として株間に施用す。第二回は芽が二寸位に伸長した頃、硫酸二匁第三回はつぼみの見え始めた頃、硫酸三匁施用す。

硫酸の代りに下肥を施用する時は硫酸一匁に対して、下肥を四〇匁の割合で施用するとよい。

共済制度について (二)

高津政秋

(前号より續き)
 農家は他の産業に何時迄も、頼ることは危険であり、早く自立して行く計画を樹てねばならぬ。
 第一次世界大戦後の農村不況の折、農家の救済制度の必要性が強く叫ばれたと同様に、今後襲い来らんとする農村不況の激浪に備えて、世界農業に大刀打ち出来る様な、農業経営の合理化と、農業政策が必要であり、このため、弱体な個々の農家の結果した協同組織の整備強化を図らねばならぬのであります。
 農民を自然の暴威より守り、その維持発展を図る最後の補償として、共済制度は誠に重要な意義を持ち農村不況に備えて、最も必要な制度で今後発展拡充して行かなければならぬ大きな問題であります。
 共済制度の根本目的は、農業災害を未然に防止して、災害の起らない状態にすることであり、農業は他の産業に較べて自然の力に左右される性質を持つて居るが、その地方の文化、技術の向上によつて次第に天災の範囲は狭められて行きます。
 我が國の農民は経済的に恵まれぬ点と、宗教的影響から、自然に対して

極めて無抵抗であり、天災だから仕方がないと云ふ諦めの氣持に支配され、防除対策を樹てる力が足りない様に思われまふ。
 従来天災として諦めて居た災害も資本の投下、農業技術の改善によつて大部分は解決せられるのであるから我々は災害克服に全力を注がねばならぬ。
 共済制度も総合災害対策として徹底した、災害防止を、前提とし、人力を以ては如何ともすることの出来ない災害に対して、その損害を補償し再生産を確保することを、目的として居り、農民保護制度として、社会保險的性格を有して居り、農民と政府と、消費者一体となつて、農業災害を防止して行かうと云う仕組のもに、制定されたのである。従つて農作物共済掛金は大体に於て其の半分を農家が負担し、残りの半分は消費者たる一般國民の負担となつて居ります。尙前述の様に、社会保險的性質を持つ、本制度なる故に、縣知事は必要な時は村に共済組合の設立命令を出し、其の区域内に住所を有する農家は当然強制加入となりまふ

(前号の續き)
 私が昨年或る炭坑の社宅を毎日警らして居ました。其の炭坑は三分の一位は表の戸締りがしてありませんが、實際の戸締りのある家の方が少ない位でした。戸締りの注意をするといふのも持つて行かれる物が無い」と答える人もありました。或る夜の事、五六軒一度に作業衣や地下足袋、鍋や釜が、朝飯の米と共に盗まれた事がありました。
 家の裏の方や人の寄り付かない処の窓や雨戸、便所汲取口の戸締りは忘れられ勝す一應点検して下さい。
 戸締りはしてあつても戸締棒や差込錠一つでは安心なりません。二重戸締りが良い様です。倉庫とか、店屋さん是一般家庭より盗難が多いのは事実が教えています。戸締を二、三重にしておいて下さい。押賣物貰いにも油断はなりません。同情の安賣は禁もつてあります。此の人は怪しい変だと思つた時は、人相着衣、特徴等を覚えて警察に届けるなり、隣り近所に連絡して注意し合はしめよう。又子供の夜遊びは悪への第一歩です。一軒の家に盗難があつた時は二、三回、其の附近二、三軒は盗難が発生する事も少くないから、又狙われた時は遠慮なく、警察に届けることは勿論近所にも連絡し合はしめよう。盗難に罹つた時は出来るだけ手をふれず立入らぬ様にして、被害現場をそのまゝにして、早く警察に届けて下さい。
 是は役場の黒板に掲示してありましたから参考迄に記してみます。
 野見山新任署長の第一声、
 去る十月三十日開催の当村青少年防犯民警懇談会の席上、野見山署長は左の如く見解を発表した。

防犯について

永富生

「自分は住みよき文化方城村の建設に協力したい。村内の治安と風紀を乱す暴力と、賭博行為に対しては徹底的に取締りを行ふ積りだ。警察としては事実の確証がないと行動が出来ぬ。各位は悪の摘発に勇気であつて欲しい。正義は憶病である事がある。私共は署長の意図に添つて動きます。又民衆の公僕として村民の皆様を奉仕したいと思つて居ます。何か御指導をお願い致します。御意見と希望も聞かせて戴いて連絡を親密にお願いします。」

子供會活動の一端

弁城小学校 藤本 昭

(前号の續き)

これは村人の世界から考えますと、未だ夕方早い時間に廻ることはおかしな様に思われた事でしょう。
 けれ共一面にあつた子供達が行動に訴えて行くことは、それぞれ家庭で「火は仕末して火事を起してはならぬ」と思ひ起させると共に、子供自身が火に対する注意と火は恐ろしい。損害の大きなことであると云ふことを、しみんと身につけたであらう。
 又非常に教えられたのは学校では習中にあまり活潑でなく、引込思案の子供も少くありません。或る子供は元氣で色々な意見も出したり勉強でも、この少年團活動のため、夏休み中に随分立派な成績を上げた子供も数多いのです。
 子供は何の心配もなく、何の氣兼ねもなくつとめて「にこ〜」と、明朗で眞面目に素直になり、神様の様な氣持を持つと云ふことを私は知つた

方城村の青少年不良化防止に就て

佐伯亮一



(前号の續き)
 今まで果して左様な人が本村に幾人あつたでせうか？
 村当局並に公民館に於かれましても其の实体を良く研究され、不良化防止並に其の犯罪の撲滅に、最善の努力を拂つて頂き度い事を要望して止みまん。
 一國の文化の発達には、其の國の交通の発達如何に依つて知り其の國の國力は青少年の意氣の如何に依つて判るとさ言われて居ります。一年の計は元日に在りとか申します。本年度こそ、此の意義ある一九五二年こそ、掛声ばかりでは何の効果を挙げ得る物では有りません。從來の育成活動を良く反省し、万全の策を講ずると共に、先づ強力なる、しかも実動性をもつた組織を作り、犯罪撲

滅の爲め、不良化防止の爲に起ち上り、更に明るい方城村の建設に邁進しようでは有りませんか、一例を申上げれば、炭坑第三区の少年團の如き人材を得るならば、一時はどうなる事かと憂慮された少年團も、現在では立派に更生し、他の少年團の模範とさえなつた実例も有りまふ。
 これこそ團員自らの自覚と、組織的な協力の賜である事は申すまでもありませんが、それを今日まで根氣よく、しかも我が事の様に熱心に育成された人達が有つたればこそ、現在の効果が現われ実を結んだ物と言えましょう。而も此の少年團の育成に當つた人達は決して地位や名譽を持つた人達では有りません、私同様に炭坑の一労働者にすぎないので御座います。
 (以下次号)

教育宝くじの發賣

此の成人人の爲の社会教育施設復旧充実を目標に第七回福岡縣教育施設宝くじが賣り出されました。
 本村引受數量の完全消化について去る二十一日公民分館長會議を開いて詳しく内容の説明と消化の方法について具体案を決定致しましたので村民皆様方の絶大なる御協力をお願い致します。

一國の文化の発達には、其の國の交通の発達如何に依つて知り其の國の國力は青少年の意氣の如何に依つて判るとさ言われて居ります。一年の計は元日に在りとか申します。本年度こそ、此の意義ある一九五二年こそ、掛声ばかりでは何の効果を挙げ得る物では有りません。從來の育成活動を良く反省し、万全の策を講ずると共に、先づ強力なる、しかも実動性をもつた組織を作り、犯罪撲滅の爲め、不良化防止の爲に起ち上り、更に明るい方城村の建設に邁進しようでは有りませんか、一例を申上げれば、炭坑第三区の少年團の如き人材を得るならば、一時はどうなる事かと憂慮された少年團も、現在では立派に更生し、他の少年團の模範とさえなつた実例も有りまふ。
 これこそ團員自らの自覚と、組織的な協力の賜である事は申すまでもありませんが、それを今日まで根氣よく、しかも我が事の様に熱心に育成された人達が有つたればこそ、現在の効果が現われ実を結んだ物と言えましょう。而も此の少年團の育成に當つた人達は決して地位や名譽を持つた人達では有りません、私同様に炭坑の一労働者にすぎないので御座います。
 (以下次号)

【隨筆】



天然の不可思議

弁城駐在所

光井 数雄

(前号の續き)

一年で一種程のものが、三十数種にもなつて食膳にのぼる様になる訳だし、ほんの十数日の間だけ一種内外より大きくなつたのを見た者もなく、其の僅かの期間を過ぎたら全然取れなくなつてしまふのだから尙更ら不可解である。私は其の砂浜から半丁も離れていない所にある駐在所に二年近く居たので漁師にも聞き、自分で随分と氣をつけて見たが、結局は右の様な事実のみで、どうも合点が行かされる儘であつた。魚の話ばかりであつたから次は山へ登つて見よう。

台湾台北の北東三里程の山へ向つて行くと草山と言ふ有名な温泉があるが、其処へ行く中腹に磁石岩と云つて三尺内外の岩が道の横にある。すぐ近くの駐在所に磁石が置いてあつて誰にでも貸す様にしてあるのだがその岩の上、六、七寸の所へ磁石を近寄せると正反對に針が廻つて北を指していた方が南へ廻る。離せば元の位置へかえる。その岩に磁氣があるのかも知れないが近寄せると正反對に針が動くのだから一寸首をかしげざるを得ない。腕時計のバンドについている様な小さい磁石でも同じであること勿論……。

近くにも同じ位の岩があるが、他の岩では、何の反應もない。その岩であればどの部分に近寄せても針はピリツと反對の方向に廻る。

以上台湾にばかり例を取つたのでピンと来ない感じがするかも知れないが、嘉穂郡千手村と朝倉郡秋月町とを界している古延山の柘植は余りにも有名で、天然記念物に指定されていると聞くが、山頂附近に立つた人は誰でも不思議に感じられると思ふ山頂附近にだけ黄楊が自然に生えている。大きさは一抱えもあると思われれるものから、小は岩の上に芽を出したばかりの様な小さいもの迄が、岩の間に生え茂つているが、何故こゝだけにのみか不思議と言いたくなるではないか。氣温の關係とすれば附近にも同じ程度の六百米内外の山もあるし、又高い山でも古処山の頂上附近と同じ程度の位置であれば同じ様に考えられるがそんな理屈は通用しない、天然記念物に指定された所以も勿論そこにあるのであるが、他に類例がなく、古処山にのみは植樹もしないで、柘植ばかりが自然に繁茂しているの、登山して見た人は等しく自然の不思議さを感じてであらう。

以上は見聞せまい自分が感じたものを二、三拾つたまゝであるが、自然界には我々凡人ではわからぬ現象が余りにも沢山ある様だ。

編集後記

紙面の制約に依つて一号の以下次号を受継いだ二号の紙面が半減されて新規御投稿の掲載が出来なかつた事をお詫び致します。従つて少々新鮮味を欠いた憾なしとせず漸次改善に努力致します。一、二号共に会館記事のないのが寂しい会館の動靜の御投稿を期待しています。

二月農事メモ

福岡縣農業改良普及員

技師 長尾智代喜

◎麥 中耕 土の固まり易い処では麦の根の發育を促すため、雨後中耕を行う。土入 分ケツ莖の基部より発根させるため、殺草を兼ね浅く土入を行う。施肥 分ケツ肥として、二月中旬までに硫酸を反當三貫程度施用。二月末の追肥はさしひかえること。◎蔬菜 二月に播種するも

の「大根」品種時無大根反當播種量四一五合、畦巾四尺五寸に二條播きとし株間を八一九寸とする。「八蔘」品種横の三寸、播種量反當毛付三一四升毛無、五升一ニ升畦布四尺の二條播き、株間五寸の互の目に株定めを行う。「ホーレン草」品種 次郎丸ホーレン草、ホーレン草ヤ、ロングスタンデング等反當播種量二升畦巾四尺の三條播き、整地の際石灰を施用すること。「牛蒡」品種と收穫時期、滝の川牛蒡は九月より十月に收穫する。新田牛蒡はス入りが遅いので九月より四月迄、中の宮牛蒡は九月より二月迄渡辺早生牛蒡は七月より八月迄に收穫する。畦巾四尺の二條播きとし、株間は六寸とする。反當播種量は一升。

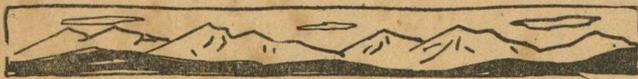
◎蔬菜作りの基礎問題 肥料の使い方 蔬菜を上手に作るためには、どの位の肥料を使つたらよいかと、よく質問を受けますので、一般の蔬菜に適用出来る様、巾のある数字を御知らせ致します。反當り、堆肥二〇〇貫一三〇〇貫、硫酸一五一一二五貫、下肥を硫酸の代りに使つては時期を見て書き度いと思ひます。

硫酸加里二貫一三貫、木灰を硫酸加里の代りに使つると二貫一三〇貫。右を元肥と追肥に分けると元肥として、硫酸五七貫下肥であれば二〇貫一三〇貫、硫酸一五貫と、下肥二〇貫を一反歩に使うとすれば、元肥に硫酸を三一五貫、下肥を五〇貫位施用する。過燐酸石灰は全量を元肥、加里や木灰も同様全量を元肥とする。追肥としては硫酸、下肥の残りを三一四回に分けて施用する。

方城ホトトギス句會句抄

塙河の雪掻き選炭婦若菜摘 追羽子や雪を被きて遠英彦 百疊の粉干し道を少しあけ 庭石を掘り返えしいる焚火かな 急患のありしを障子越しに告ぐ 句狂句碑曳りし炬咄そのことを 恋もなく美しく老い秋の蝶 針山の如くばかりと曼珠沙華 大花野見に來て岩にもたれ居り 教師とは嚴しき名なり秋の蝶 閉ざされて障子鉄壁となりけり いづこへも編みかけ毛糸手ばなさず 湯姿のにじみ出しこと氣付かず 立ちしぶる折辺より返事とばしつゝ 里人をかりたてるほど野鷲延び 野嶋今官有林に延びむとす 女等は紅葉かざして樂しけれ すぐ消ゆる紅葉を焚いて茶屋女 麗舞へる只一面の世原 手袋を匿へ脱ぎして切符買ふ 小春日の家鴨鉄橋くぐりぬけ 冷まじや英彦山嵐はげしき夜

- 梅崎 魁陽 篠原 子晃 中原 一線 石橋 梅園 川原比佐於 香月 梅邨 白石千鶴子 白石 芝山 堀川 炭丹 香月 梅窓 白石天留翁



道路愛護の實績

◎文化は道路から、文化方城村の名にふさわしく村民各位の文化意慾の旺盛さを如実に示し表彰の光榮に浴しました。

表彰状

昭和二十六年十月実施の道路愛護にあたりよく一致團結して特に優秀な成績を挙げられたことに對して茲に感謝の意を表する。 昭和二十六年十二月二十二日 福岡縣知事 杉本勝次 福岡縣道路協會長 野田俊作

此の榮譽を忘るゝことなく將來共一層の御協力をお願い致します。 村長 松井肝太

お詫び 記事幅狭のため「北海逸聞 拓青年協力隊感文」 「青年の言」 本号は休載して翌号に掲載します。その他沢山の投稿も頂きましたが紙面僅少のため掲載出来ざる事を残念に思ひます。